予備審查顧求は管轄国際予備審查顧關

-行わなければならない。2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。

IPEA/ JF

特許協力条約に基づく国際出願



国際予備審査請求書

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。

	国際予備審査機関記入欄					
国際予備審査機関の確認		環求書の受理の日	23.3.04			
第 I 欄 国際出願の表示			出願人又は代理人の書類記号 G53KASEI			
国際出願番号	国際出願日 (日. 月. 年)		優先日 (最先のもの) (日. 月. 年)			
PCT/JP03/14458	13.11.03		14.11.02			
発明の名称 ポリカーボネート共重合体、樹脂組成物および成形品						
第1個 出願人						
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に配載;法人 名も記載)	は公式の完全な名称を配載	;あて名は郵便番号及び国	電話番号:			
帝人化成株式会社 TEIJIN CHEMICALS, LTD.			ファクシミリ番号:			
〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku, TOKYO 100-0011JAPA			加入電信番号:			
			出願人登録番号:			
^{国箝(国名):} 日本国 JAPAN		住所(国名): 日本国	JAPAN			
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載;法人は公式の完全な名称を配載;あて名は郵便番号及び国名も配載) 池田 幸紀 IKEDA Koki 〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 帝人化成株式会社内 c/o Teijin Chemicals, Ltd., 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku,TOKYO 100-0011 JAPAN						
^{国籍(固名):} 日本国 JAPAN		^{住所(国名):} 日本国	JAPAN			
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に配載:法人は公式の完全な名称を記載:あて名は郵便番号及び国名も記載) 徳田 俊正 TOKUDA Toshimasa 〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 帝人化成株式会社内 c/o Teijin Chemicals, Ltd., 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku,TOKYO 100-0011 JAPAN						
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN		^{住所(図名):} 日本国	JAPAN			
▼ その他の出願人が税業に記載されている。						

様式PCT/IPEA/401 (第1用紙) (2004年1月版)



	国際出願番号
2	PCT/JP03/14458
第Ⅱ欄の続き 出願人	
この第11個の競きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書に含めた	
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の頃に配報:法人は公式の完全な名称を記録 首藤 弘 SHUTO Hiroshi 〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番 帝人化成株式会社内 c/o Teijin Chemicals, Ltd., 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku,TOKYO 106	2号
^{国翰(国名):} 日本国 JAPAN	住所(<i>国名)</i> : 日本 国 JAPAN
氏名 (名称) 及びあて名: <i>(姓、名の頃に配載:法人は公式の完全な名称を配</i> 松井 学 MATSUI Manabu 〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番帝人化成株式会社内 c/o Teijin Chemicals, Ltd., 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku,TOKYO 100	2号
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN	住所 <i>(国名)</i> : 日本国 JAPAN
氏名 (名称) 及びあて名: <i>(姓、名の関に記載;法人は公式の完全な名称を記</i> 載 三宅 利往 MIYAKE Toshiyuki 〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番 帝人化成株式会社内 c/o Teijin Chemicals, Ltd., 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku,TOKYO 106	2号
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN	^{住所(図名):} 日本国 JAPAN
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に配載:法人は公式の完全な名称を配象 丹藤 和志 TANDO Kazushi 〒100-0011 日本国東京都千代田区内幸町1丁目2番 帝人化成株式会社内 c/o Teijin Chemicals, Ltd., 2-2, Uchisaiwaicho 1-chome, Chiyoda-ku,TOKYO 100	2号
国類(図名) :日本国 JAPAN	^{住所(国名):} 日本国 JAPAN
	<u> </u>

模式PCT/IPEA/401 (続葉) (2004年1月版)

その他の出願人が他の親葉に記載されている。



•	国際出願番号			
	PCT/JP03/14458			
第皿棡 代理人又は共通の代表者、通知の	あて名			
下記に記載された者は、 代理人 又は 共通の代表者 として 既に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者で、 今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は共通の代表 既に選任された代理人又は共通の代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対	者は解任された。			
氏名 (名称) 及びあて名: <i>(姓、名の頃に記載:法人は公式の完全な名称を記載:あて名も記載</i>) 大島 正孝 OHSHIMA Masataka 〒160-0004 日本国東京都新宿区四谷四丁目 3番地 福屋ビル 大島特許事務所 OHSHIMA PATENT OFFICE, Fukuya Bldg., 3, Yotsuya 4-chome, Shinjuku-ku, TOKYO 160-0	03-3356-7565 ファクシミリ番号: 03-3356-8826 加入電信番号:			
通知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上配枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。				
第Ⅳ欄 国際予備審査に対する基本事項				
補正に関する記述: ◆ 1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。 ✓ 出願時の国際出願を基礎とすること。 明細書に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。				
関求の範囲に関して 出願時のものを基礎とすること。 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正(添付した説明書も含む)を基礎とすること。 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 出願時のものを基礎とすること。				
特許協力条約第34条の規定に基づいてなさ	れた補正を基礎とすること。			
2. 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。 3. 出願人が国際予備審査の開始を規則69.1(d)に基づき適用される期間の満了まで延期することを希望する。 4. 出願人が国際予備審査を規則54の2.1(a)に基づき適用される期間の満了よりも早く開始することを明示的に希望する。 *配入がない場合は、1)補正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していないときは、出願時の国際出願と基礎に予備審査が開始され、2)国際予備審査機関が、見解費又は予備審査が開始され、2)国際予備審査機関が、見解費又は予備審査が開始又は統行される。				
国際予備審査を行うための官語は、日本語であり、				
国際				
第V棡国の選択				
この様式を用いてされた国際予備審査の請求は、指定され、かつPCT第Ⅱ章に	句東される全ての締約国を選択する国際予備審査の請求となる。			

模式PCT/IPEA/401 (第2用紙) (2004年1月版)



		国際出願番号		
4	頁	PCT/JP03/14458		
第VI欄 照合欄				
この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記載する言語に 下記の書類が添付されている。	よる	国際予備審查機関配入欄		
1. 国際出願の翻訳文	枚	受 領 未 受 領		
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正書	: 枚			
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正 な (又は、要求された場合は翻訳文)の写し	: 枚			
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明 書 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し	枚			
5. 挚简	: 枚			
6. その他(書類名を具体的に配載):	枚			
この国際予備審査請求確には、さらに下記の容類が添付されている。				
1. ノ 手数料計算用紙 ノ 納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した費面	5. 配名押印(署名)の欠落に6. コンピュータ読み取り可能			
✓ 国際事務局の口座へ振込を証明する書面		とな形式による配列表に関連するテーブル		
	8. その他 (智類名を具体的に			
3. 包括委任状の原本				
4. 包括委任状の写し(あれば包括委任状番号):		· ·		
	•			
第VII禰 出願人、代理人又は共通の代表:	者の配名押印			
各人の氏名(名称)を配載し、その次に押印する。				
大 島 正	孝 (三)			
国際予備審查機関記入欄				
1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日				
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付				
3. 優先日から19月を経過後の国際予備審査額求替の受理。 ただし、以下の4.5の項目にはあてはまらない。	規則 54 の 2.1(a)の期限 ただし、以下の 7.8 の項	の経過後の国際予備審査請求替の受理。		
出願人に通知した。 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内 7	規則 80.5 により延長が	認められている規則 54 の 2.1(a)の期限		
の国際予備審査請求書の受理	内の国際予備審査請求	かり文理。		
5 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが 8 規則82により認められる。	・ 規則 54 の 2.1(a)の期間 であるが規則 82 により	間の経過後の国際予備審査請求書の受理 超められる。		
国際 部務)	司 配 入 欄 ——			
国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日:				

模式PCT/IPEA/401 (最終用紙) (2004年1月版)



特許協力条約に基づく国際出願

第Ⅱ章

手数料計算用紙

国際予備審査請求書の附属書

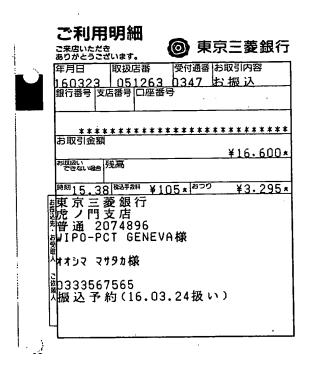
国際出願番号	————国際予備審査機関記入欄 ——
PCT/JP03/14458	
出願人又は代理人の管類記号 G 5 3 K A S E I	国際予備審査機関の日付印
帝人化成株式会社	
所定の手数料の計算	
1. 特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律 (国内法) 第18条第1項第4号の規定による手数料	28 000
(予備審査請求料)(注1)	28,000 🖪 📗
2. 取扱手数料 <i>(注2)</i>	16,600 _F
3. 所定の手数料の合計 P及びHに記入した金額を加算し、合計額を合計に記入	44,600 🖪
	습 함
(注1) 法第18条第1項第4号の規定による手数料については、将 (注2)取扱手数料については、国際予備審查規関である日本国特許庁 振り込みを証明する書面を提出することにより納付しなければ	の長官が告示する国際移務局の口座への

模式PCT/IPEA/401 (附属書) (2004年1月版)



予備審查手数料 28,000円





取扱手数料 16,600円